

みんなが活用できる学校図書館を目指して

～教員による学校図書館活用充実のために～

和歌山市立宮小学校

1 取組の概要

本市では、「第二次和歌山市子供読書活動推進計画～『子供と本』の未来をつなぐために～」を令和3年3月に策定し、読書活動の推進を図っている。また、平成28年度から学校司書を順次配置しているが、小学校50校、中学校17校、義務教育学校1校あり、それぞれの読書活動における進捗状況は様々である。現在、学校図書館としては読書センターの機能の充実を図られているものの、学習・情報センターとしての機能には課題がある学校が多い。

そこで、令和5年度は宮小学校を中心に学校司書を配置し、学習センターとしての機能の強化を図るとともに、近隣の3小学校を連携校に指定し、研究に取り組んだ。

2 宮小学校のこれまでの取り組み

宮小学校は、これまでも図書館教育を推進しており、常時開館がなされ、司書教諭が4月に図書館オリエンテーションを開いたり、絵本給食を行ったりと取組を積み上げてきている。それだけでなく、廊下や特別教室前にも図書を置き、児童がいつでも本に触れることができるようにしている。令和3年度には、文部科学省の「子ども読書活動優秀実践校表彰」を受賞している。

3 学校図書館機能活用に向けて

宮小学校は、読書についての取組は行われてきたが、蔵書に偏りがあり、調べ学習などに取り組みにくい状況にあることが課題となっている。そのため、「学習センター」「情報センター」としての機能は十分ではないため、学習に使える学校図書館になることを目指した。

(1) 授業で使える学校図書館資料（学習センターとしての取組）

1年 生活科「あきとなかよし」

生活科の授業で、児童が自分たちで拾ってきた落ち葉を図鑑で調べた。児童は色や形などに注目して自分の気に入った落ち葉を拾ってきており、その特徴などをとらえて、図鑑などを使って落ち葉がどの木のものであるかを調べるという活動を行った。また、今回の授業では、何の葉っぱかを理解した上で、「秋を楽しむ」という作品制作に取り組むことを想定し、授業の最後に学校司書による読み聞かせを行った。



(2) 授業で学校司書と連携するために

- ①学校図書館全体計画を学校司書と共有する。
- ②授業のねらいや、図書資料の活用場面について協議を行う。
- ③学校司書は、協議で出た話の内容や、できあがった指導案を見て、教科や学年に合わせた使う資料を絞り、必要なページに目星をつけ、付箋やマークをつける。



今回だけでなく、普段から授業で使いたい資料があるときなど、「授業支援打ち合わせ記入表」に記入し、教員の使いたい学校図書館資料について、選書などを行っている。読書だけでなく、学校図書館の利活用に向けた取組を進めている。

記入者()	授業の進め	学校司書
授業クラス	0分	
授業日	15分	
授業場所	30分	
教科	45分	
単元	55分	
ねらい	60分	
授業と司書の関わり		
選書		

記入内容

- ・授業クラス
- ・授業日
- ・授業場所
- ・教科
- ・ねらい:本時のねらい
- ・授業を通して児童に身につけてほしい力
- ・授業と司書との関わり:選書、読み聞かせ、本紹介 等

④授業での成果として

膨大な資料の中から学校司書がある程度検討をつけて選書し、授業担当者と協議を重ねて授業で使用する資料を選んでいたため、児童は自分が拾ってきた葉っぱについてスムーズに調べることができており、同じページに載っている他の葉っぱや、似た特徴をもつ葉っぱにも興味を持つことができていた。使う資料を授業者だけでなく学校司書や司書教諭も関わり選書したことで幅広い選書ができ、本時のねらいにせまる授業展開になるとともに、児童がたくさんの本に触れる機会にもなった。

また、学校図書館所蔵の書籍はルビ振りのものが多く、簡単な説明のものが多いため1年生の児童にも読みやすかったようである。インターネットであれば検索したキーワードに関連する情報だけが抽出されるが、本であれば特定の落ち葉を調べていても、似たような種類の落ち葉や木の実などの情報が目に入り、周辺の情報へと視野も広がっていく。インターネットでの検索のほうが身近であろう児童に、本で調べる力を育て、図書館や本の便利さや良さを感じてもらえるきっかけの1つとなった。

4 学校図書館活用充実に向けて

学習指導要領を踏まえた学校図書館の機能強化や学校司書の関わりにより、意識の向上等において成果があった。授業中の教員と学校司書の連携を見ることで、図書館を活用した授業改善や選書から見た授業展開などの考え方が深まったと感じる。

本年度の取組からも、学校図書館機能の活用を図るためには蔵書の充実が重要であることは明白である。来年度重点的に取り組むことを明確にし、蔵書の充実につなげるとともに、本年度の取組を見直し、改善しながら、教員による学校図書館活用充実のために、みんなが活用できる学校図書館を目指していきたい。